

令和4年度 第6回学校運営協議会 議事録

令和4年11月4日
八王子市立別所中学校
応接室
17:00～17:30

出席者：校長、圓城寺、杉山、岡田、生川、大木、小川

(開会)

1 校長挨拶

2学期いろいろな行事をやらせていただいております。今後狂言教室を実施します。ご都合がつくようでしたら、ご覧ください。12月10日の学校公開では落語教室、パラリンピアン講演会を実施します。よろしくお願いします。

もう1点。人事の件ありがとうございました。

2 学力調査結果から (小川)

八王子市学力定着調査では国語と数学を行っています。課題は表現力・学力差(数学・英語)・イメージ化の3つがあります。

対策としては、授業中での自分の意見を表現する機会の設定、単元ごとの定着度調査・学習教室の実施、ICT等を活用して生徒たちがイメージしやすい授業の展開が挙げられます。

(岡田) 先生ごとのデータは出るのですか。先生方の改善にもつながります。

(大木) 放課後学習教室を10月から始めました。生徒の学力差に対応できればと思います。

3 学運協委員と教職員の懇談会(面談等)の結果について(杉山、圓城寺)

(杉山) 5人の先生と面談を行いました。別所中の長所短所を聞きました。

短所：①服装のルールが徹底されていない。

②「など」の表現がある関係でわかりづらい。

③ルールの解釈が先生ごとに異なる。

④教員の数が足りない。教員同士の関わりが少ない。

⑤口調が強い指導を受ける。

⑥時間にルーズである。

⑦引き継ぎのデータがない。

長所：①落ち着いている。

②あいさつができる。

③保護者が協力的である。

④生徒が元気である。

⑤相談しやすい。

⑥先生方が温かい。

まとめると、「ルールの曖昧である、生徒たちはのびのびしている」でした。

(圓城寺)「指導の意思統一がされていない。引き継ぎが悪い。雰囲気は悪くない。」との回答でした。

(杉山) ルールの徹底の件についてはどうですか。

(市原) その通りです。温度差があります。

(杉山) 学校としてはどうですか。

(岡田) 先生方にとっては統一した指導方針があった方がやりやすいが、生徒にとっては許容範囲が緩やかの方が自分たちで選べるのはいい面もあります。

(大木) 統一しているとは思いますが、厳しくするとぎくしゃくします。

(小川) 新たなケースが出ていて、判断に困る場面に遭遇しています。

(岡田) ルールを作り始めるときりがなくなってしまう。

(杉山) 教員間で意思統一をしてもらえると彼女たちも安心すると思います。

(岡田) 別の件で、過去の情報が蓄積されていないことが心配です。

(市原) データはあり、聞いてもらえば回答できると思います。

4 質疑応答及び情報交換

修学旅行業者プレゼンはお隣のA組大教室で行います。参加される方はお移りください。

5 次回の日程確認

令和4年11月17日(木) 13:00～13:50

14時から学校保健委員会を行います。

(閉会)